

第2学年A組 保健体育科学習指導案

日 時：平成30年11月22日（木）第4校時
指 導 者：天草市立有明中学校 教諭 金子 大
G T：ダンスインストラクター 鶴岡りか子
場 所：有明体育館

1 単元名 G ダンス「創作ダンス」

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（体育分野）の内容G「ダンス」を受けて設定したものである。

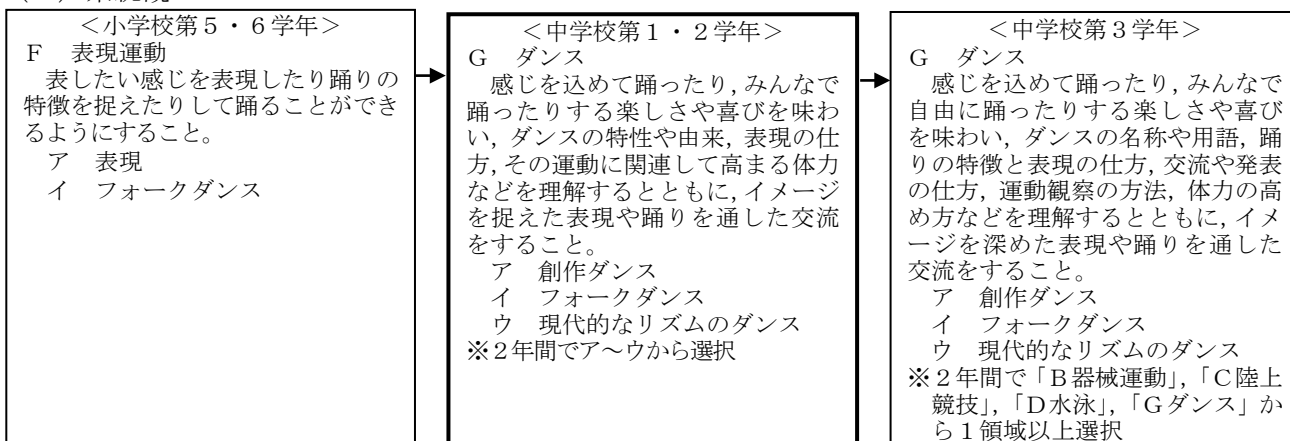
ダンスは創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスで構成され、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

小学校では、低学年の表現リズム遊びで、題材の特徴を捉え全身で踊ったり、リズムに乗ったりして踊ることを、中学年及び高学年の表現運動で、表したい感じをひと流れの動きで表現したり、リズムや踊りの特徴を捉えたりして踊ることを学習している。

本単元では、これらの学習を受けて、イメージを捉えたり、深めたりする表現、伝承されてきた踊り、リズムに乗って全身で踊ることや、これらの踊りを通じた交流や発表ができるようにすることが求められる。

したがって、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方を理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。その際、表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにすることが大切である。また、学習に積極的に取り組み、仲間の学習を援助することや一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなど意欲を持ち、健康や安全に気を配ることができるようにすることが大切である。

(2) 系統観



(3) 生徒観（※生徒に行ったアンケートの結果は別紙参照）

本学級の生徒は、男子19名、女子15名の計34名で構成されている。明るく元気な生徒が多く、男女とも仲の良いクラスである。体育の授業について多くの生徒は意欲的に取り組んでいるが、そうでない生徒も複数名いる。

事前のアンケート①では、「運動は好きか」「体育の授業は好きか」の問いについては、男女とも多くの生徒が「はい」と答えた。「ダンスをするのは好きか」の問いについても「はい」と答えた生徒が多かったが、「いいえ」と答えた生徒も若干名いた。また、女子に比べて男子の方が「テーマから動きを考えることができない」と答えた生徒が多かった。

アンケート②の運動有能感調査では、「統制感」及び「受容感」は高く、「身体的有能さの認知」に関して低い生徒が男女とも複数名いるという結果であった。

アンケート③のダンスの各観点に関するアンケートでは、女子に比べて男子の方が各観点とも苦手と感じる生徒が多く、男女で差が見られた。

体力テストの結果では、柔軟性や全身持久力などダンスに関連する体力は県基準値を上回った。

(4) 指導観

①指導にあたっては、天草郡市中体研の研究主題を受け以下のことに留意したい。

天草郡市中学校体育研究会 研究主題

自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育学習の在り方
～学びに向かう力を高める授業の在り方を通して～

研究の仮説

運動有能感を高める指導方略を生徒の実態に応じて効果的に用いた授業を展開すれば、運動への内発的動機付けが高まり、自ら運動に親しみ、運動の喜びや楽しさを味わい、生涯にわたって健やかな心と体をはぐくむ資質や能力が身に付くであろう。

研究の視点1 【できる楽しさ（身体的有能さの認知）】⇒「ここまでではできる」と感じる手立て

- 運動の行い方のポイントを基に、グループ内、グループ間（ペアグループ）で課題や出来映えを伝え合い、相互評価を行わせる。
- ステップの精度の高まりを実感させるために、毎時間、基本ステップを自己評価する。
- 目指す姿を意識させ、既習事項を振り返らせるために、学習カードを活用する。

研究の視点2 【のびる楽しさ（統制感）】⇒「努力すればできるようになる」と感じる手立て

- 動きやイメージを捉えさせるために、W-U p ダンスやテーマダンスでヒントとなる動きやステップを入れる。
- 課題解決学習における課題解決の糸口とさせるために、「学習の足跡」を掲示しこれまでの既習事項を振り返らせる。
- 「はじめ-なか-おわり」を簡潔に構成させ、思考を可視化させるためにアイデアボードを活用する。

研究の視点3 【かかわる楽しさ（受容感）】⇒「受け入れられている」と感じる手立て

- 責任感や連帯感を高めたりさせるために、各グループの係やダンス作成における役割など、役割分担を明確化する。
- 肯定的な授業の雰囲気作りのため、MVPやMVTの選出を通して、グループ内・グループ間による教え合い、励まし合いを促進する。
- 互いに出来映えや課題を伝えやすくさせるために、課題を焦点化（視点をそろえる）する。
- 他グループの学びを自己や自己のグループの学びに生かすことができるよう、毎時間即興的な発表会を設け、意見や作品を交流させる。

その他の手立て、授業改善の視点

- 基礎的・基本的技能の確実な定着や関心・意欲を高めるために、GTを活用する。
- 生徒が主体的に考えて取り組むことができるようにするよう、UDの視点から1単位時間の授業の進め方をパターン化し、提示する。
- 学習内容の確実な定着を図るため、授業はじめのオリエンテーションと授業終わりの振り返りの活動を充実させる。
- W-U p ダンスで体力課題に応じた動きを入れる。
- 運動量を確保するために動きながら課題解決に取り組ませる。

②人権が尊重される授業づくりの視点

グループでの活動を通して技能ポイントを互いにアドバイスし合い、協力しながら活動できる場を設定する。（仲間づくり）

学習を通して、柔軟性、平衡性、全身持久力などの体力の強化を図り、総合的な体力向上につなげる。（健康な体力づくり）

③道徳との関連

運動における協働の経験を通して、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。（内容項目B-（9））

3 単元の目標

<p>(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、イメージを捉えた表現や踊りを通じた交流をすること。</p> <p>ア 創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ること。</p> <p>イ フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ること。</p> <p>ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ること。</p> <p>(2) 表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫すること。</p> <p>(3) ダンスに積極的に取り組むとともに仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどや、健康安全に気を配ること。</p>

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
<p>① ダンスに積極的に取り組もうとしている。</p> <p>② 仲間のよいアイデアや表現に声をかけるなど互いの個性や表現を認めようとしている。</p> <p>③ 仲間の動きを手助けしたり、学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしている。</p>	<p>① 提供されたテーマや表現の仕方から、自己やグループの課題に応じて練習方法を選んでいる。</p> <p>② 発表の場面で、仲間のよい動きや表現などを指摘している。</p>	<p>① リズムの特徴を捉えて踊ることができる。</p> <p>② 変化のある動きを組み合わせ、踊ることができる。</p> <p>③ 動きに変化を付けて即興的に表現するための動きができる。</p> <p>④ 変化のあるひとまとまりの表現をするための動きができる。</p> <p>⑤ テーマにふさわしい変化と起伏や場の使い方をを用いて、「はじめ-なか-おわり」の構成で表現している。</p>	<p>① 動きの変化についての技術の名称や行い方の具体例を挙げている。</p> <p>② 表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③ ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。</p>

5 単元の指導計画及び評価基準（9時間取り扱い：本時5／9時）

	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8	9		
学習活動	集合・あいさつ・健康観察・準備運動（ダンス体操）										
	目標確認 ※本時における到達目標をイメージする										
	オリエンテーション	W-U p ダンス								小グループ練習	
		W-U p ダンスを覚える	テーマダンス				多様なテーマからイメージを捉え、「はじめ-なか-おわり」で表す。			多様なテーマからイメージを捉え、「はじめ-なか-おわり」で表す。	
			多様なテーマからイメージを捉え、動きに表す。				課題に迫る練習			課題に迫る練習 (小グループ・大グループ)	
即興的な発表会									発表会		
本時の振り返り											
関心・意欲・態度	① 観察					② 観察		③ 観察			
思考・判断				② 観察 学習シート			① 観察 学習シート	① 観察 学習シート			
技能	① 観察	② 観察	③ 観察		④ 観察				⑤ 観察		
知識・理解			① 学習シート	② iポード 学習シート					③ 学習シート		

6 本時の学習

(1) 本時の目標

変化のあるひとまとまりの表現をするための動きができる (技能)

(2) 本時の展開

過程 (時間)	形態	学習活動【言語活動】	予想される生徒の反応 ○ (十分) △ (不十分)	指導上の留意点・評価		備考
				T	G T	
つ か む (12)	一斉	1 挨拶・健康観察 2 準備運動 (リズムダンス) ①E-DANCE ダンス体操 ②W-up ダンス (5つの動きの繰り返し) 3 テーマダンス「サッカー」 【例】 ①センタリング (歩いてキック) ②胸トラップ ③ドリブル (ランニングマン) ④シュート→決まる (スロー→巻き戻し→繰り返し) →キッカー ①シュート準備 ②手を出して伸びる・縮む ③ボールへ向かって飛ぶ (スロー→巻き戻し→繰り返し) ④届かず→決められる (スロー→倍速で転ぶ) →キーパー 4 本時のめあてを確認する。	○大きな動きで踊っている。 △リズムが合わない。 △動きが小さい。 △イメージが捉えられない。	【徹底指導】 ポイント ・前時を振り返る 【徹底指導】 ポイント ・準備運動・テーマダンスで心を開放させる。 ・主運動につながるよう意識を持たせる。 ・動きを示し、イメージを捉えさせる。 【徹底指導】 ・誇張した表現を示し、既習事項とテーマダンスからイメージを捉えさせる。	・ダンスに対して苦手意識を持つ生徒と一緒に踊り、リズムを合わせやすくする。 ・T1と一緒に分担した動きを示し、生徒にイメージを掴ませる。	PC プロジェクター スピーカー タブレット
		誇張した動きを入れて、スポーツの名シーンを表現しよう！！				ワークシート
さ ぐ る (12)	個	5 個人で「ひとまとまり」の動きを作る。 (1) 与えられたテーマを即興で表現する (2) 「スローモーション」、「巻き戻し」、「繰り返し」、「援助」などの動きを用いる。	○動きながらイメージを作っている。 △誇張のイメージが捉えられない。	【徹底指導】 ポイント ・サッカーの動きを「キッカー」「キーパー」「ボール」などのテーマからひとまとまりの動きを作らせる。 ・ICTを活用しながら動きのイメージを掴ませる。	【能動型学習】 ポイント ・イメージが広がるよう助言する。	タブレット iボード スピーカー PC プロジェクター
ふ か め る (18)	グループ	6 グループで「はじめなかおわり」の構成で表現する。(8拍×2~4程度の動き) (1) グループ内で二手に分かれて表現する。(3人×2) (2) 「なか」(盛り上がる)のシーンを決める。 ※「スローモーション」、「巻き戻し」、「繰り返し」、「道具を使用する」、「援助」などの動きを用いる。 (3) 「はじめ」「おわり」のポーズとつなげる。 7 各グループ内で即興発表会。 (1) 6班同時に発表する。(同じグループ内で見せ合う) (2) 意見交流し、提示された表現の仕方に応じて仲間の出来映えや課題を伝え合う。 【言語活動】 設定の意図 意見交換で自己やグループの表現の良さや課題に気づき、工夫・改善し課題解決していく能力を養う。	○動きのポイントを絞って表現している。 ○より表現が豊かになるよう互いに助言している。 △意見交流に意欲的でない。 △話し合う時間が長い。 △動きをたくさん入れようとしている。	【徹底指導】 ポイント ・ボードとステップ集を使って、即興で動きを構成する。 ・運動量確保のため、立って話合いをさせる。 ・「はじめ」と「おわり」はポーズを指定し、「なか」のみ動きを作成させる。 ・話し合いの手順を示し、習慣化させる。 【徹底指導】 ポイント ・もらった意見をiボードに記録させる。 【能動型学習】 ポイント ・意見交流でタブレットとiボードを使い、振り返りがしやすいようにさせる。	【能動型学習】 ・「なか」の作成において、効果的な演出を助言する。 ・交流の際に、特に誇張の部分に絞って助言を行う。 ・表現を修正する際に、より誇張できるように助言を行う。	タブレット iボード スピーカー PC プロジェクター
ま と め る (8)	一斉	8 振り返りを行う。 (1) グループで体操をしながら振り返る。 (2) 振り返りを書く。 (3) MVPを選出し、振り返りを発表する。 (4) 教師のまとめを聞く。	○めあてに沿った形でスローモーションや繰り返しなどキーワードを出しながら振り返っている。 △めあてに沿って振り返っていない。	・めあてに準じた振り返りを行うことができるよう促す。 ・MVPや振り返り発表では、認め励ましを行う。	・めあてに対してよくできていた生徒、班を例に出しながら認め励ましを行う。	ワークシート

【評価】 (技能)
スポーツの名シーンの表現について、変化のあるひとまとまりの動きができる。
<観察・iボード>